

ゆたかなさとかんきょうほぜんみどりかい

豊里環境保全水土里会 (上田市)

- 組織の活動面積 A = 128.62 ha
- 組織の構成員数 約 700 人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 ■
取組開始年度	平成24年～	—	平成24年～

構成員	農業者、自治会員、吉田堰管理組合、林之郷堰組合、吉田池管理組合、下吉田ほ場管理委員会
-----	--

○組織の概要

豊里地区は、上田市の東部に位置し、豊かな田園地帯で、稲作はもとより良質な土壌を生かし、美味しい果物(りんご、ぶどう)の産地です。

豊里は、古来から水に恵まれない土地のため、養老年間(710年頃)に、日本百名山に選ばれている「四阿山」を源とする神川より水を引いた「吉田堰」が掘削され、その後同じく神川より水を引いた「林之郷堰」、また新田開発のため江戸中期に作られた「吉田池」により、現在のような豊かな農地が作られました。

昭和になり、ほ場整備により水路やほ場が整備されましたが、整備後二十数年経ち水路等もかなり老朽化し、漏水等により農作業に支障をきたすようになってきています。

本組織は、立ち上げ当初から向上活動にも取り組み、精力的に農地の保全活動に取り組んでいます。

豊かな田園風景を守り 恵まれた自然環境を後世に残す



水路の大きな法面の草刈りを行い、きれいにしています。

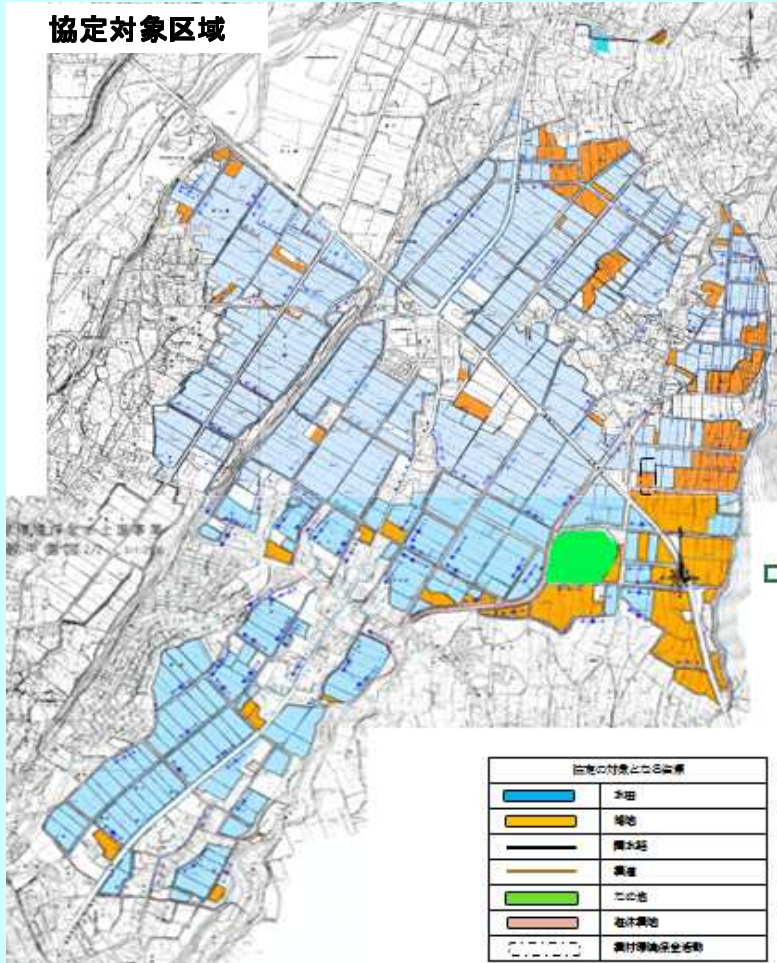


構成員の手により、老朽化した水路の補修工事を行っています。



草刈りを容易にするため、畦畔に小段を設置しています。

協定対象区域



菅平ダム管理所での勉強会



沈砂池に溜まった土砂の放出の見学



吉田堰頭首工の見学

私たちの使っている水がどこから流れてきているのか、豊殿小学校の子供たちに見てもらうため、神川上流の「菅平ダム」や「吉田堰」を見学して勉強会を行いました。

